

道内に住む小学生に関するさまざまなアンケート

今回のテーマ 「小学生の自由研究について」

調査概要 2016年4月5日～11日の期間、道新ぶんぶんクラブ会員の中で小学生のお子さんがある親133人にお聞きしました。

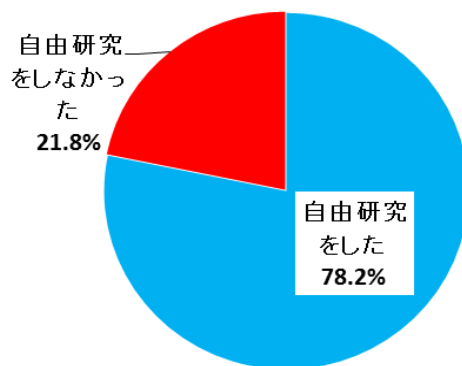
質問内容 小学生のお子さんの自由研究についてお聞きしました。

調査結果1

直近の冬休みに自由研究を行った小学生は、約8割

直近の冬休み（2015年12月～2016年1月）に自由研究をしたと回答した小学生は、78.2%となりました。ジャンル別では、「工作・フリーアート」が約6割と最も多く、「調べ学習」が約2割となっています。

直近の冬休みに自由研究をしましたか？



調査結果2

自由研究の保護者の関わりについて～保護者の関わり度は高い～

自由研究の親との関わりについてお聞きしました。

「自由研究のテーマはどのように決めたのか」については、

- ・子どもが一人で決めた 38.6%
- ・子どもと保護者が一緒に決めた 55.2%
- ・保護者が決めた 4.2%

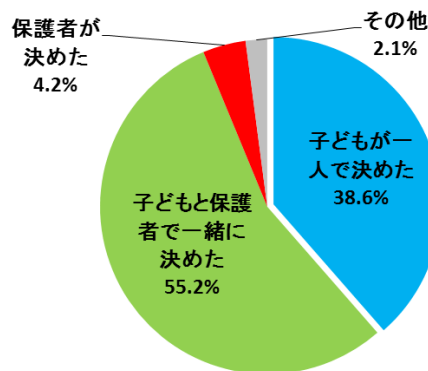
との結果となりました。

「自由研究をどれくらい手伝ったか」については、

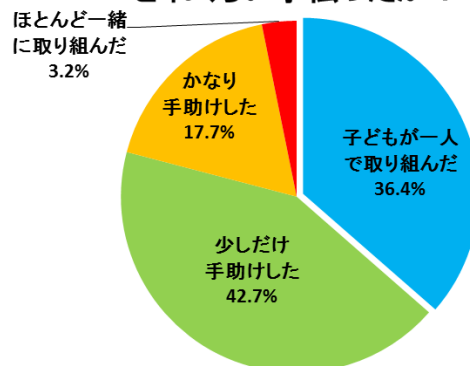
- ・子ども一人で取り組んだ 36.4%
- ・少しだけ手助けした 42.7%
- ・かなり手助けした 17.7%
- ・ほとんど一緒に取り組んだ 3.1%

となり、およそ3分の2の保護者が、何らかの手助けをしている結果となりました。

自由研究のテーマはどのように決めましたか？



保護者は自由研究をどれくらい手伝ったか？

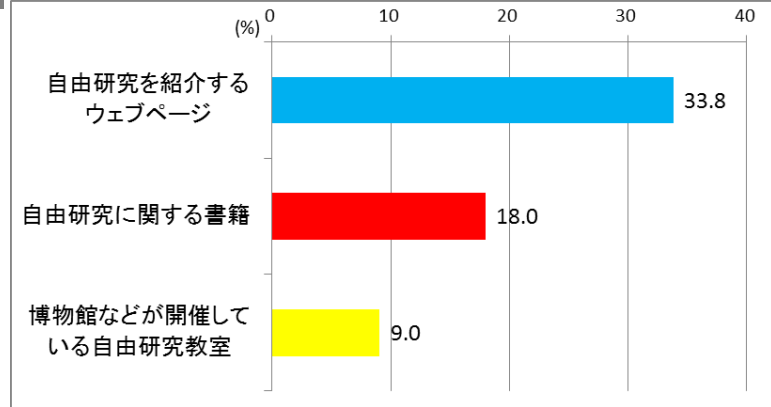


調査結果3

自由研究で参考にしたもの

自由研究を行う際に参考にしたものについて聞いたところ、

- ・自由研究を紹介するウェブページ **33.8%**
 - ・自由研究に関する書籍 **18.0%**
 - ・博物館などが開催している自由研究教室 **9.0%**
- となりました。



調査結果4

自由研究で苦労した点

自由研究で苦労した点を具体的にお聞きしました。テーマを決める、自由研究をまとめることで苦労したとの意見が多く寄せられました。

自由研究をする上で苦労した点	お子さんの学年	お子さんの性別
なんかおかしいなと思っても口出ししないでおくのに苦労した	小学3年生	男子
テーマを決める時に、子どもが現実には実行がかなり難しいことに取り組みようとするため、本人の意欲を損なわないように、軌道修正をしたり計画を立てさせるのが苦労した。	小学6年生	男子
どこまで親が手を貸すかについて苦労した。	小学6年生	男子
作品づくりだけではなく、大きな模造紙に作り方をまとめたのですが、文章で手順を書いたり、感想を書いたりといったことが楽しく感じられず、いやいや書く感じで大変だった。	小学3年生	女子
やりたい事が多過ぎて、一つに絞るのに時間がかかった。	小学3年生	女子
やるのがなかなか決まらないこと。自分が想像していることがうまく表現出来ないこと。	小学6年生	男子
取り組み始めるまでが大変で、図書館などの書籍を探す手間が一緒に手伝ったのが一苦労でした。初めにテーマを決めるまでが中々決められなかった。	小学3年生	男子

調査結果5

保護者が考える自由研究の意義

自由研究の意義にはどのようなことがあるかを保護者に聞いたところ、最も多かったのが、「子どもの探究心や好奇心を伸ばすことができる」で33.8%。次いで、「子どもの自主性を伸ばすことができる」が27.1%となりました。

自由研究の意義を子どもの成長を促すものだと考えている保護者が多いようです。

